

盲導犬のルーツを探る ④

系統だった盲導犬訓練の始まり①

1819年 世界初の盲導犬訓練

盲導犬についての理論的考察は、1819年に刊行された視覚障がい者の研究家でもあるヨハン・ウィルヘルム・クライン神父の盲教育に関する著作によって体系化が試みられていた。彼は、その著作の中で、盲導犬の訓練は晴眼者によって行われるべきこと、適正犬種としてシェパードなどを挙げ、また、現在のハーネスに近い誘導具を考案してその使用を提唱した。



クラインのイラスト

1916年 オルデンプルグ盲導犬学校設立（ドイツ）

ドイツは、世界に誇る作業犬ジャーマン・シェパードを作出し、その繁殖や訓練において、常に世界をリードする立場であった。

1914年に勃発した第一次世界大戦によりドイツ国内でも多くの死傷者がでていた。戦時中より、オルデンプルグ軍用犬協会会長でドイツ枢密院顧問官であったゲアハルト・シュターリンク氏は、失明軍人が急増する状況を見て、犬を盲人の誘導役として使用することを考え、1916年に盲導犬の訓練を目的とするオルデンプルグ盲導犬学校を設立。この盲導犬学校の開設により近代盲導犬事業が始まったと言える。翌年より盲導犬を送り出すことに成功し、この犬たちの真価は直ちに認められた。

1923年 ポツダムの盲導犬学校（ドイツ）

ドイツ・シェパード犬協会がポツダムに盲導犬学校を開設。ドイツ政府もまた、ポツダムに国立盲導犬学校を設置し、毎月15頭前後の盲導犬を育成し失明軍人に給付していた。